

ジョイエス

生活者・生産者をむすぶ生活クラブ(エス)を楽しみ、
参加する(エンジョイ&ジョイン)ための情報提供がジョイエスの役割です

生活クラブ

東京

6 2026
June

特集

おおぜいの参加でつくる 都市農業と種の未来



生活クラブ
でんき

再エネに切り替えるなら今! 生活クラブでんきスイッチングキャンペーン

キャンペーン期間中に生活クラブでんきご契約の方全員にタラメンと象潟うどんのセットをプレゼント! さらに希望者は「でんきの生産者を訪ねるツアー」(抽選)にご応募いただけます。福島で再エネ発電事業に取り組み生産者を訪ね、発電の現場を実際に見て・学べる貴重な機会です。ぜひ生活クラブでんきに切り替えてご応募ください!

詳細はこちら▶



8/31
まで!

多様な人の参加で持続可能な農業に挑戦している生活クラブ農園・あきる野。写真は有償ボランティアによるほうれん草の収穫。
ここでは野菜だけではなく、人や地域のつながりも育っています(関連記事 P4-5)

組織の概要

(2026年4月末現在)

●組合員数(デポー含む)93,203人 ●4月度加入736人/脱退634人 ●4月度利用高21億6,782万円/世帯当り30,230円(デポー除く)



消費材の 向こう側

第4回

私たちが何気なく手に取っている消費材。生産者のもとでどのように作られているか、気になったことはありませんか？生活クラブでは組合員がさまざまなかたちで生産現場を訪れ、消費材について学ぶ活動を続けています。カタログだけでは分からない消費材の向こう側を紹介します。

健康と環境を第一に、薬品は極力不使用

市販のトイレットペーパーは、付加価値を高めたり生産効率を上げたりするため、多くの薬品が使われています。一方、新橋製紙(株)のロールペーパーは、できる限り薬品に頼らない製法を貫いています。

たとえば、古紙を白く見せるために一般的に使われる漂白剤は不使用。代わりに、原料を水で洗って絞る工程を4回繰り返し、自然な色合いのまま古紙の色を薄くしています。また、紙を乾燥させる工程では、金属製ドライヤーに巻き付ける際に一般的に使われる鉱物油ではなく、なたね油をベースにした剥離剤を使用。肌が弱い方でも安心して使い続けられるよう、細部まで配慮された製法です。



古紙を最初に処理する地球釜。約12トンの古紙と水、最小限の薬品を入れ、4～5時間かけて蒸気でじっくりほぐします。こうして繊維を丁寧に取り出し、ふんわりした紙の原料が生まれます。古紙の選別や釜の操作など、多くの工程は人の手で支えられています。

多摩南生活クラブ主催 生産者出会の旅

無漂白ロールペーパーシングルソフト 新橋製紙(株)

今回は「無漂白ロールペーパーシングルソフト(以下、ロールペーパー)」の生産者・新橋製紙(株)を多摩南の組合員16名(内、子ども5名)が訪問しました。朝早くの集合に眠そうな子どもたちの姿もありつつ、バスは静岡県富士市の工場へ向けて出発。意外にも多くの参加者が生活クラブのロールペーパーを使っていないと判明し、製造現場を見られることへの期待が高まりました。帰りのバスでは、全員が「家でも使おう!」と心を決めるほどの変化が。市販品との違いを実感できる、学びと発見に満ちた旅となりました。



厚くてしっかり!内容量が違う

トイレットペーパーの表示基準は「寸法(幅・長さ)」と「表示者名」だけで、厚みや重さの規定はありません。そのため市販品は年々薄くなり、知らないうちに内容量が減っていることもあります。生活クラブのロールペーパーはパッケージの体積は小さくても重量があり、破れにくく丈夫で備蓄にも最適。市販の薄い紙は糊で固めているため溶けにくく、配管詰まりの原因になりやすいと言われていています。丈夫で溶けやすいロールペーパーは、環境にも住まいにもやさしい選択です。



紙を乾かして巻き取る工程では、流れる紙を常に目で確認し、大きな穴やインク残りを見つけたらその場で印を入れて次の工程で取り除いています。

生産者出会の旅とは

組合員が消費材を深く知り、生産者と交流しながらつながりを育むことを目的に、組合員が産地を訪れて生産現場を見学し、生産者の思いを直接聞く企画です。地域の生活クラブやまちが主催し、新しく加入した方も含め、多くの組合員が参加しています。2025年度は46企画が実施されました。

●組合員より●

生産者出会の旅に参加して

昨年12月から消費委員として活動に参加しています。これまで料理企画の片付けでロールペーパーを使うことはありませんでしたが、自分で購入したことはありませんでした。今回、生産者を訪問し、ロールペーパーが真っ白でない理由や、肌に触れるものだからこそ薬品を控えているという話を聞き、安心して使える理由がよく分かりました。また、製造に大量の水が使われていても、排水として流される直前の水が驚くほど透明で、環境への配慮を実際に目で見ることができました。ペーパーレス化で古紙の調達が難しくなり、原料のグレードを下げざるを得ず異物混入が増えているという現状にも驚きました。

体にも環境にもやさしいロールペーパーづくりは、生産者の努力があってこそ。これまで柄つきのトイレットペーパーを使っていましたが、一緒に参加した娘も「使ってみよう」と言ってくれたので、家でもロールペーパーを使い始めました。これからもロールペーパーを愛用し続けます。



まち調布狛江
岡本 洋子さん

●生産者より●新橋製紙(株)

新橋製紙(株)は1948年に創業し、日本で初めてトイレットペーパーを製造したメーカーです。生活クラブとは1975年に提携し、組合員と共に安心・安全な消費材を作り続けています。組合員の声を受け、用途を限定しない「ロールペーパー」という名称に変更し、幅を114mmから108mmに見直し製造ロスも減らしてきました。

市場で増えている香り付きのトイレットペーパーは、香料をプラスチック製のマイクロカプセルに閉じ込めています。カプセルが空気中に拡散したり、肌との摩擦で弾けたりして香るしくみです。つまり、カプセルの破片や香料が、毎日何度もデリケートゾーンに触れることとなります。化学物質過敏症の方が増える中で、健康面の不安は小さくありません。生活クラブと同じ紙質のトイレットペーパーを利用している病院の患者さんから「この紙は肌荒れしなかった」という声も届いています。

ロールペーパーは繊維量が多く、市販品よりしっかりして長持ちします。ぜひ一度使って、違いを感じてください。



新橋製紙(株)
代表取締役社長 山崎 清貴さん

パキスタンのスラムで暮らす子どもたちの自立支援

JFSA 衣類・毛布・バッグ などの 回収にご協力ください

NPO 法人 JFSA (日本ファイバーリサイクル連帯協議会) は、古着などを回収し国内外で販売することで、子どもたちが無料で通う学校アル・カイルアカデミー*1 を支援しています。生活クラブでも2000年から、のべ43,660人(2026年3月末現在)の組合員が回収に参加してきました。

*1 アル・カイルアカデミー:パキスタン最大の都市カラチ市にある、本校・分校・カレッジをあわせて約6,500人が学ぶ無料の学校。1987年にカラチ市のスラムで設立しました



第2分校の給食の様子

受付期間：6月1日(月)～8月31日(月) 到着まで

受付品目

【お願い】すべての品物は他のどなたかが再び利用します。汚れ、破れ、虫食い、毛玉などのないもので、洗濯済みのものをお送り下さい。受付品目以外のもはJFSAでは活用できませんので、お間違えのないようにご注意ください。

中古・新品

<衣類以外のもの(毛布など)>

- ・バッグ類(スーツケース不可)・ポーチ/財布類(カビ、傷み注意!)
- ・ぬいぐるみ(電池駆動のもの不可)・タオル/ハンカチ類(新品と中古は分けてください)・アクセサリ(ネックレス、指輪、ブローチ、ブレスレット、イヤリング)(ピアスとヘアアクセサリ不可)・メガネ/サングラス(度数問わず、フレームのみ可)(フチなし、半分のフレーム、フレームが壊れたものは不可)・毛布/綿毛布・タオルケット・シーツ・掛敷ふとんカバー(敷パッドとベッドパッドは不可)・カーテン(レース可)・テーブルクロス(大きいサイズ)・靴(新品同様)(ロングブーツと上履きは不可)・大人用革製ベルト(新品同様)・ネクタイ(学校用不可)・大人用手袋(新品同様)・帽子(麦わら不可)・スカーフ/ストール/マフラー

<大人用衣類※性別・季節・素材問わず可>・カジュアルシャツ/ブラウス/ワイシャツ/Tシャツ/ポロシャツ/カットソー(半袖、長袖とも可)(キャミソール不可)・トレーナー/パーカー/フリース・ジャケット/アウター類(ジャンパー/ダウン/ベストなど)・ジーンズ/長ズボン/短パン(七分丈、五分丈も可)・ジャージ(上のみ、下のみも可)(学校用不可)・ニット類(セーター/カーディガン/ベスト)・ワンピース・男性用スーツ(上下セットのみ可)(女性用不可)

<子ども服>・女児夏服(120まで、ベビー服可)・男児夏服(サイズ問わず)・冬服(120まで、ベビー服可)・甚平(上下セットのみ)・下着類(布おむつ、おむつカバー、トレーニングパンツも可)

新品のみ(中古不可)

・着物の反物(絹、麻、綿)(ウール、ポリエステルは不可)・女性用下着(ブラジャー、ガードル、ボディスーツ、カップ付きインナーは中古も可)・男性用下着(半袖、ランニング、ブリーフ、トランクスは中古も可)・靴下(ストッキングは不可)・枕カバー・毛糸/レース糸(使いかけは不可)

その他

換金してJFSAの目的に沿って使います
・未使用切手・書き損じハガキ・未使用カード類・金券類

JSFA 活動報告

JFSAのパキスタン派遣では、アル・カイルアカデミーの各キャンパスに加え、生徒やスタッフ宅の訪問も行なっています。昨年12月の派遣時にも、カラチ市のゴミ処分場の中の集落(カチラクンディ)に2002年に建てられた第2分校と、分校に隣接する生徒宅を訪問しました。この家族は、市内で回収された、トラックで処分場に運び込まれるごみを燃やし、焼け残った有価物を集めて売ることによって暮らしています。他の生徒の家族も、多くはごみの中の有価物に頼る暮らしです。第2分校では現在週に4日、給食を提供できるようになりました。このような環境で生きる子どもたちにとって、給食は貴重な栄養源であると同時に、友人たちとの大切なコミュニケーションの場としても欠かせないものになっています。



第2分校に通う姉妹とその家族で売ることによって暮らしています。他の生徒の家族も、多くはごみの中の有価物に頼る暮らしです。第2分校では現在週に4日、給食を提供できるようになりました。このような環境で生きる子どもたちにとって、給食は貴重な栄養源であると同時に、友人たちとの大切なコミュニケーションの場としても欠かせないものになっています。

送り方

- ・シーツなどの大きい布で包むか、ビニール袋(二重にしてください。ゴミ袋も可)または紙袋に入れ、破れて中身が出ないようにしっかりとヒモをかけ、郵便・宅配便でお送りください。保管場所、作業効率の問題のため、段ボール箱は使わないでください
 - ・古着の回収は支援事業であり、リサイクル活動です。JFSAまでの送料のご負担をお願いします
 - ・送り状のお名前の後に、団体名の「生活クラブ東京」と「荷物の重さ」をお書きください
 - ・ご協力いただいた方には、JFSAより活動情報をお送りします
- ※詳細はお問合せください

<お持ち込みの場合>

直接持ち込みの場合は予約が必要です。WEBまたはお電話で予約を受け付けています。



送付・持ち込みの詳細(JFSA)

送り先 問合せ

〒260-0001 千葉市中央区都町3-14-10
NPO法人JFSA 千葉センター
☎043-234-1206
(木曜定休)

おおぜいの参加でつくる たね 都市農業と種ねの未来

農園では有償ボランティアが大活躍

苗の植え付けや収穫の最盛期など、人手が必要な時期に頼りになる有償ボランティアのみなさん。品質にかかわる作業も多いので農場スタッフの丁寧な指導のもと、おおぜい参加いただいています。



江戸東京野菜の
しんとり菜の収穫作業



さつまいもの苗の植え付け

収穫した野菜を袋詰め



／ 大きなカブを見つけたよ！

栽培している在来種の野菜は20品種以上!

利用者の声

いつものきゅうりと違い、さっぱりして好きな味みぞ漬けが最高!



江戸東京野菜
馬込半白きゅうり

江戸東京野菜 内藤かぼちゃ



食べ頃の色まで待って、おいしくいただきました

甘さと味の濃さに 驚きました!



長崎在来種
黒田五寸人参

江戸東京野菜 寺島ナス



加熱すると
甘くておいしい

出荷用

種取り用に
畑で育てると、
こんなに大きく!

農場長からのメッセージ

あきる野農園では耕作放棄地を活用した直営農場と体験農園を運営し、自家採種で翌年も同じ野菜を育てられる在来種の栽培にも挑戦しています。種の価格高騰や種の生産者の減少で、これまで同様に入手することが難しくなっており、自家採取の重要性を再認識しています。市場に流通する種の多くを輸入に頼っていることにも、危機感を抱いています。

野菜や作物はすべて「種」から始まります。地域で守られてきた種をどう残し、つなぐのか。しかし、農家が生産と並行して種を取るのハードルが高いのが現実です。あきる野農園には、有償ボランティア、地域の特別支援学校、就労支援B型作業所など、多様な人が関わっています。在来種を育て、種をつないでいく重要性を伝えることができるのは、こうした多様な参加があるあきる野農園ならではの強みです。

あきる野市内の休耕農地を生活クラブ東京が借用し、2016年に開園した生活クラブ農園・あきる野（以下、あきる野農園）。農作物の生産と販売、組合員の農業体験・交流事業を柱に、持続可能な農業をめざしています。化学合成農薬を使用せず、有機質肥料のみを使用した在来種の栽培にも挑戦し、特別支援学校

や就労支援作業所との農福連携も実践。組合員が都市農業に参加する機会として、体験農園や収穫体験、有償ボランティア制度を行っています。今年3月に初の有償ボランティア交流会を開催し、あきる野農園で育てた野菜の種取りや種のシェアを行いました。今回は、交流会の様子とあきる野農園の実践をご紹介します。

3月8日 有償ボランティア交流会



種取りにもコツが必要
完熟して固くなった実を切り、
種を取り出します



交流会では6種類の野菜の種を取りました。
種取り用に完熟まで育てると、いつもの野菜も見慣れない姿に



種取りが終わったら種の
シェア会。持ち帰って育て、
種を受け継いでいきます



有償ボランティア16名と
農あるまちづくり委員、
農園スタッフが参加しました

有償ボランティアに参加して

2022年頃、あきる野農園の野菜のサンプルを配達員の方からいただいたことをきっかけに、有償ボランティアの存在を知りました。農業に興味はあったものの関わる機会がなく、問い合わせる中で参加しました。活動期間中は週1回通っています。夏の作業は大変ですが、雑草取りなどを通して野菜が育つ喜びを感じています。スタッフも温かく、ボランティア同士で協力して袋詰めなどをするのも楽しいです。今回の交流会で、改めて在来種のことを知り、あきる野農園の価値を再確認できました。これからもボランティアとして参加し続けたいです。



まち立川
平田 尚代さん

引っ越しを機に生活クラブに加入しました。転居以前、広島では畑を借りて家庭菜園をしており、生活クラブの名前は耳にしていました。3年前から有償ボランティアとして週1回参加しています。交流会では、種や土づくりの段階から健康に配慮する大切さを改めて実感しました。昨年4月からは市内でも子ども食堂を始め、生活クラブの食材やあきる野農園の規格外野菜を使ったメニューを提供しています。あきる野農園の野菜は味が濃く、利用者にも好評です。引き続き、身体も心もよろこぶ食材を使用していきたいと思っています。



まちあきるの
堀田 三枝さん

農業を体験・参加しよう!

●農業体験農園のらっこ

提携生産者の指導を受けながら農業体験ができます。

2026年6月現在、のらっこあきる野（あきる野市）、のらっこしみず（和光市）、のらっこおいぬま（町田市）の3園を開設しています。



丁寧な指導で未経験でも安心して参加できます

●収穫体験

6月～8月と11月～12月頃に旬の野菜の収穫体験を開催しています。参加募集はWEBサイトやSNS、メルマガをご覧ください。



枝豆とトウモロコシの収穫体験（2025年7月7日開催）

●有償ボランティア

あきる野農園の直営農業で専従の農場長・農園スタッフと共に農作業を手伝ってもらっています。（募集は不定期です）

生活クラブ東京の都市農業を支える取組み
詳しくはこちらから▶



生活クラブ農園・あきる野 農場長 守屋 亜純さん
(写真左下)



農園スタッフのみなさん



Q わたしの声 Q & A

Q: 最近、鶏卵の黄身の色が異様に濃くてオレンジ色の時があります。なぜでしょうか？

A: 鶏卵の黄身の色は親鶏が食べたものによって変化します。生活クラブで親鶏に与える餌は、遺伝子組み換えの混入を防ぐため分別したポストハーベストフリーのトウモロコシや大豆油かすに、埼玉県で栽培された子実トウモロコシ、国産飼料自給率を上げる目的で「飼料用米」等を配合しています。飼料用米の割合が農場によって多少違うことや、季節による飼料配合の調整などが、鶏卵の黄身の色の違いに影響を与えています。また生産者によると、鶏にも餌の好みがあり、選んで食べる鶏もいるようです。

以前は飼料用米の配合割合が35%と高く、黄身の色は淡かったのですが、鳥インフルエンザの影響や昨今の米不足で飼料用米の割合が低くなり、昨年8月以降15%まで下がっています。今後もその時の状況に応じた割合で、生活クラブの自主基準に則した飼料を与えていきます。

東京役員の リレーコラム



汚れ落ちが石けんがいちばん！

現在、石けんプロジェクトで、7月からはじまる「洗う、暮らす、つながる せっけんカフェ 2026」の準備をしています。石けんの良さを実感してもらおう実演をしようと、「洗濯用粒状せっけん」「洗濯用液体せっけん」と市販の合成洗剤（粉末・液体）で洗い比べをしてみました。布に口紅をつけて、それぞれの洗浄液の中で10回もみ洗い。結果は、粉末と液体のどちらとも石けんの方がよく落ちました。

生活クラブでは合成洗剤は取り組んでいません。「輝く白さのため」「フローラルのいい香りのため」「除菌・抗菌・消臭のため」と謳って、洗剤や柔軟剤などに有害な化学物質が使われることが問題だと考えているからです。それらは衣類にこっついて拡散され、「香害」といわれる体調不良やマイクロプラスチック・ナノプラスチックの問題などに繋がっています。

石けんだけを使って暮らすことは、コツさえつかめばそんなに難しいことはありません。7月はシャボン玉月間です。ぜひ、石けんにチャレンジしてみてください。

(生活クラブ東京 理事長 加瀬 和美)

4月 理事会報告 議事抜粋

- SPC2 事業における城南信用金庫融資実行までのつなぎ融資について
- 世田谷区再エネ電力切替キャンペーン（2026年度）の活用について
- 生活クラブ東京まちなか市民ソーラー事業に関する連携協定の締結について
- 第58回通常総代会 役員補充選挙に伴う役員立候補の推薦に

ついて ●総代会運営、招集通知内容などについて ●葬祭ワークス委託費と代表交代について ●府中市「住まいの相談事業」の受託について ●4月連合理事会討議決定事項「庄内みどり農協における米の清算問題への生活クラブの対応に対して再整理とそのことをもっての総括について」を受けた生活クラブ東京としての対応について

..... 切り取って下の部分を提出してください



生活クラブや消費材への意見・要望、企画申込みはこの用紙またはWEBで提出できます。みなさんの声をお待ちしています。



氏名	電話番号	提出日	事務局記入欄
		/	センター/デポー
			東京本部
			/
			印

〈お願い〉 ご記入の内容について該当項目に○をつけてください。
 ①提案・要望・質問 ②みんなに伝えたいこと ③ジョイエスの感想 ④企画申込み ⑤その他
 ●質問には2週間程度でお答えしていますが、詳しい調査が必要な場合などさらに時間をいただくことがあります。※事故品の連絡は現物を保存のうえ、すぐにコールセンター・デポーにお電話ください。生鮮品の報告は翌週末までです。※配送をご利用の方は配達便に、デポーをご利用の方は各デポーのフロアワークスまでご提出ください。

ご希望のイベント名をご記入ください

※ご記入いただいた情報は目的以外、または次の条件以外では第三者に開示しません。
 ①ご本人の同意がある時 ②ご本人を特定できない状態で開示する時 ③生活クラブの関連団体、提携先より回答することが望ましい場合

展示即売会

スーツ・ジャケット・ワイシャツのお仕立て
 クールビズに最適なワイシャツが1枚からお仕立てできます。仕立ての良さが自慢です。

●デポー-国分寺 展示会

6月6日(土) 7日(日) 10:30～17:30
 会場：デポー-国分寺 (国分寺市泉町3-33-2)
 TEL：042-359-5160

●デポー-石神井 展示会

6月13日(土) 14日(日) 10:30～17:30
 会場：デポー-石神井 (練馬区石神井台8-22-5)
 TEL：03-5947-3460

展示会関連

TEL 03-3324-4502 (10:00～16:00)
 定休日：火・水・日

●パラマウント 靴の内覧会 予約制

6月12日(金) 13日(土) 9:00～18:00
 会場：ポディア飯田橋店 (新宿区新小川町9-6)
 予約受付期間：5/25～6/5 (先着順)
 男女靴、ウォーキングシューズ、子ども靴、インソール調整、修理など承ります。詳しくは5/18～配布のチラシをご覧ください。

●天地堂 ランドセル

2027年モデル発売！ランドセル専門店の天地堂が自信をもっておすすめします。カタログご希望の方は、こちらよりご請求を。



事業部

TEL 03-5426-5206 (9:00～17:00)
 定休日：土・日

協同村

豊かな自然の中で、農業体験やキャンプなどが楽しめる生活クラブの施設です
 入材料：510円(4歳～小学生310円)
 ※繁忙期(7/1～8/31)はプラス200円
 駐車料：600円/1日

ワークス・コレクティブ草の実主催企画

●石窯ピザ焼き体験

6月14日(日) 7月18日(土) 11:00～13:00
 参加費：1,800円/1人
 ピザ生地を伸ばしてトッピング。石窯に入れて焼きます。

●六条麦で麦茶を作ろう！

7月25日(土) 10:00～12:00
 参加費：1,500円/1人
 協同村で育てた麦で麦茶を作ります。

※企画内容が変更、または中止・延期となる場合があります。ご了承ください。

NPO 法人地球野外塾との共催企画

※小学3年生以下の参加は保護者同伴

●手作りランタンでホタル探し

6月14日(日) 13:00～20:30
 参加費：5,000円/1人
 自作ランタンを持って夜道を散策し、ホタルを探しに行きます。

●イチから作る青竹流しそうめん

7月5日(日) 9:30～16:00
 参加費：5,000円/1人
 竹の切り出しからはじめる「流しそうめん」

●早わかり・安全な川遊び

7月12日(日) 11:00～14:00
 参加費：1,000円/1人
 ライフジャケットと予備知識で安全に川遊びを楽しもう！

協同村ひだまりファーム

あきる野市戸倉863
 TEL 042-596-0103
 休村日：火・水 (7/23～8/31は休村日なし)

生活クラブの学校

受講料は組合員価格(記載のない場合無料)
 オンライン・会場の記載がない場合は、生活クラブ館(世田谷区宮坂3-13-13)開催
 ページ右上の二次元コードより申込みできます

【NPO 法人コミュニティスクール・まちデザイン (CS まちデザイン) との共催企画】

食農共育講座

●親子で収穫体験

6月21日(日) 10:00～12:00
 講師：白石好孝さん(練馬農家)
 会場：白石農園(練馬区大泉)
 受講料：3,800円/1組(大人1名+子ども2名)
 ※野菜セット・試食代込み。人数の追加も夏の思い出先取り企画!!とうもろこし・トマトなどの夏野菜の収穫、簡単な料理や保存法のミニレクチャー(試食あり)、クイズ大会(賞品あり)、中里郷土の森緑地で自然解説員からお話も聞けたりと盛りだくさんな内容です。

●家庭の食医 実践編

6月23日(火) 10:30～12:30
 7月14日(火) 10:30～12:30
 講師：中島玲子さん(漢方薬・生薬認定薬剤師、国際中醫師、国際中医薬膳管理師)
 受講料：2,800円/回
 人間は自然の一部です。季節や気候、生活環境などが心と体に影響します。今回は五臓と関わりのある「目、舌、口、鼻、耳」で起こりやすい症状について、実践的に役立つ力を身につけます。6月は「舌」、7月は「口」に対する養生法がテーマ。薬膳茶の試飲も楽しめます。

●キッズのための講座

～Let's cook!～(第2回)
 Aクラス：6月28日(日) 10:00～12:00
 Bクラス：7月5日(日) 10:00～12:00

講師：松田希美子さんほか(CS料理講師)
 受講料：4,800円/回(年長～小学生対象)
 グループで協力して楽しくお料理します。苦手なものも自分で料理すると「食べてみよう!」と意欲がわきます。クイズで食材への関心もアップ! メニュー：タコライス、アーサー汁

NPO法人CSまちデザイン TEL 03-5426-5212

【ACT(アクト) 運動グループとの共催企画】

受講料：3,000円/回
 ※ACT会員無料(年会費3,000円)

ACTの地域育て・自分育て講座(全12回)

●第1回 暮らしの中の言葉にされないニーズを知る～関係を深めるための話の聴き方～

6月12日(金) 10:00～12:30
 講師：檜谷照子さん(保健師)
 その人が生活していく上での本当のニーズは何か、その人らしく暮らしていくために必要なものは何かを学びます。

●第2回 相談・支援のためのコミュニケーション

6月24日(水) 14:00～16:30
 講師：梅本和比己さん(一社)メンタルヘルス協会代表理事)
 相談の基本姿勢と自己への気づき、カウンセリングマインドを学びます。コミュニケーションを考えるすべての方に受けてほしい講座です。

●第3回 コミュニティとは何かを問い直す～これからのコミュニティづくりに向けて～(オンライン講座)

6月30日(火) 14:00～16:30
 講師：内山節さん(NPO法人森づくりフォーラム代表理事、哲学者)
 世界・日本の共同体の歴史。自然と人間、神仏との関係など哲学的・歴史的な視点からコミュニティの在り方を考えます。人気講師による新たなテーマでの講座です。

NPO法人アビリティクラブ たすけあい(ACT) TEL 03-5302-0393

【環境政策委員会主催企画】

石けんプロジェクト

●香害って何?～子どもにも広がる見えないリスク～(オンライン併用講座)

7月4日(土) 10:30～12:30
 講師：平賀典子さん(日本消費者連盟・洗剤部会、香害をなくす連絡会、新潟大学非常勤講師)
 衣服から匂う柔軟剤の香りが、つらいと感じたことはありませんか?洗濯の常識としてあたりまえに使われている柔軟剤や消臭剤の成分について知り、つらさの原因や“悪意なき汚染”といわれるワケを学びます。

政策推進課 TEL 03-5426-5204

応援したくなる再エネ

野辺山営農ソーラー株式会社

長野県

HERE →

生活クラブでんきは原発に頼らず、志をおなじくする地域や顔の見える生産者と共に再生可能エネルギーを推進しています。

野辺山営農ソーラー株式会社（以下、野辺山ソーラー）は2022年に設立され、31,863㎡の農地でほうれん草、花苗などの栽培と営農型太陽光発電（ソーラーシェアリング）に取り組む生活クラブでんきの生産者です。ソーラーシェアリングは農地の上に太陽光パネルを設置し、農業と発電を同時に行うしくみで、耕作放棄地対策や兼業による農家の収益安定化につながります。



野辺山営農ソーラー株式会社 代表取締役 宮下博満さん

静岡で書店員をしていましたが、実家に呼び戻されて家業の農家を継ぎ、ひょんなことからソーラー事業の代表取締役に

畑と発電の状況はいかがですか？

耕作放棄地だったので畑に使う井戸水を掘るのに苦労しましたが、2024年に水を引くことができほうれん草栽培を始めました。太陽光パネルの下にハウスを設置して育てていますが、パネルなしの通常のハウスと遜色なく収穫ができて満足のいく結果でした。他には花苗と原木舞茸、ブルーベリーにも挑戦しています。発電事業では想定外の1.3~1.5倍程の発電ができていて非常に好調です。設置したのは両面で発電できるパネルで、雪の反射からの発電も見込んでいましたが、パネル下のビニールハウスからの照り返しによる発電が想定より多かったのではないかと考えています。パネル下にハウスを設置するのはまだ珍しい事例ですから。



太陽光パネルの下に設置されたほうれん草のビニールハウス

太陽光パネルで、農作業に支障はありますか？

問題ありません。パネル下にハウスを建てて大型のトラクターが作業できるよう架台を高く、柱の間隔を広くして、遮光率も暗すぎないように調整しています。設計段階から営農性をしっかりと考えてパネルを設置しました。ほうれん草が通常のハウスと変わらず育っているのがその証拠ですね。

組合員との交流も始まっていますね

ソーラーシェアリングを始めて、組合員のみなさんが訪ねてくるようになりました。みなさん応援してくれるんですよね。それがとても印象に残っています。今後は「野辺山ニューヴォ構想」という地域の拠点づくりに取り組みます。併設の元別荘をリノベーションして、地元の人たちだけでなく地方と都市を結ぶ場にもしたいです。ぜひ遊びにきてください。



2025年11月、多摩きた生活クラブの見学の様子

野辺山ソーラーを訪ねて

八ヶ岳の麓、広々とした大地に並ぶ背の高いソーラーパネルは、まるで芸術作品のように見えました。新しい技術に圧倒されつつ、この足元では昔から続いている農業が営まれ、ほうれん草などの作物が育てられていく。異常気象による夏の猛暑時は、パネルがあるお陰で暑さにやられずに良く育つ、という話が印象的でした。

人も作物も、一緒に太陽のエネルギーをもらって、伸び伸びと育てている場所だと感じました。野辺山ソーラーの方々は、自然と共生しながら営農されているからか、自然体で大らかな印象を受け、応援したい!と思う素敵なみなさんでした。ぜひ一度、訪れてみてほしい場所だと思います。



まち東くるめ
三間優子さん



生活クラブでんきに
切り替えよう!

~いちばん身近な「脱炭素」~

イランをめぐる軍事行動により、政府は3月末に石炭火力発電の稼働率の引き上げを表明しました。原油、天然ガス、石炭はその99%を海外からの輸入に依存しています（経済産業省資源エネルギー庁 HP より）。国内自給が主である再生可能エネルギーは、国際情勢に左右されない安定供給、資源戦争の回避につながります。一人ひとりの「脱炭素を!」という声を示すためにも、再エネに切り替えませんか?（関連記事：表紙）